

議会だより しらおか Shiraoka



2 P 条 例

4 P 平成 29 年度 一般会計補正予算

5 P 平成 29 年度 特別会計補正予算

6 P 一般質問

12 P 委員会活動報告

14 P 審議結果

ワインバーで
ケーキ職人してます

No.198

2018. 2. 1

学童保育所の運営を指定管理へ

《12月定例会》

11月30日から12月20日までの21日間にわたって定例議会が開かれ、市長から提出された諮問1件、議案20件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

条 例

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正

人事院勧告にもとづく国家公務員の給与改定を踏まえ、市長・議員などの報酬及び費用弁償などに関する条例などの一部を改正するものです。

職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告にもとづく国家公務員の給与改定および埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、職員給料表及び勤勉手当の支給割合に関する条例などの一部を改正するものです。

税条例の一部改正

地方税法のうち、控除対象配偶者の定義の変更など一部の規定が改正されることとともない、条例を改正するものです。

問 今回の改正における税収の見込みは。

答 独自の試算はしていないが、国の試算で1千万円程度の減収と見込む。減収分は国から全額補填されることになっている。

保健福祉総合センター条例の一部改正

保健福祉総合センターに、埼玉葛北地区基幹相談支援センターを設置するため、本条例を一部改正するものです。

問 自立支援協議会は、年間どの程度会議などが実施されるのか。

答 計画調整会議、行政担当者会議、運営会議が月1回、全体会議が年2回で、各部会がおおむね2か月に1回開催される。

問 基幹相談支援センター事業の予算は。

答 全体の予算額は、2,157万円である。白岡の負担額は、人口と障がい者手帳保持者の割合により、約424万円を見込んでいる。



ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正

児童扶養手当法の一部改正により、ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正するものです。

問 同一生計配偶者、控除対象配偶者および源泉控除対象配偶者の違いは。

答 同一生計配偶者は、控除を受ける本人の所得制限はなく、改正前の控除対象配偶者と同じ意味である。取り扱いは変わらない。控除対象配偶者は、控除を受ける本人の給与額面が1,220万円、配偶者の給与額面が103万円以下が対象となる。源泉控除対象配偶者は、控除を受ける本人の給与額面が1,120万円以下で配偶者の給与額面が150万円以下が対象となる。

勤労青少年ホーム条例を 廃止する等の条例

国の勤労青少年福祉法の一部改正により、勤労青少年ホームに関する規定が削除されることになり、勤労青少年ホームを廃止し、白岡市公民館条例に統合するものです。

問 勤労青少年ホームの講座などの事業は、30年度はどのようになるのか。

答 勤労青少年ホームの廃止により講座などの事業は、中央公民館事業に統合していくことになり、働く青少年に対する事業を公民館事業としていく。30年度の予算編成においても、これまでと同程度の30万円程度を可能な限り確保していきたい。

指定管理者の指定

しらおか味彩センター

しらおか味彩センターの管理運営を有限会社しらおか味彩センターに行わせるものです。期間は、30年4月1日から33年3月31日までです。

問 指定管理者は、会社の効率的な経営管理に努め、地産地消の拠点としての施設運営が求められると思うが、選定方法と選定理由を伺う。あわせて味彩センターはオープン当初から同社が継続して管理運営を行っているが、これまでの経営状況について伺う。

答 15年オープン当初は管理委託制度、18年度以降は指定管理者制度により継続して管理運営を行ってきた。23年度から26年度は赤字経営だったが、27年・28年は黒字経営となった。このことから、施設の目的をより効果的かつ効率的に達成できると認め選定した。

問 市は筆頭株主として、経営会議でどのようなアドバイスをしているのか。

答 売上向上におけたアドバイスをしたり、生産者や消費者の声をくんだりしている。

梨選果センター

梨選果センターの管理運営を南彩農業協同組合(JA南彩)に行わせるものです。期間は、30年4月1日から33年3月31日までです。

問 JAにしたメリットは。

答 当初からJAであり、管理料を支払っていないこと、梨生産者との信頼関係が築かれていることなどである。

学童保育所

学童保育所の管理運営をシダックス大新東ヒューマンサー



ビス株式会社に行わせるものです。期間は、30年4月1日から35年3月31日までです。

問 選定に当たっては、十分に審議したか。

答 プロポーザル方式で行い、事業計画書でチェックした後、プレゼンテーションにおける提案内容をもとに審議した。

問 危機管理体制については。

答 安全危機管理マニュアルにもとづき、防火対策、防犯対策などを行っているが、指定管理者との協定の中で見直しなどを含めて検討していきたい。

反対討論

シダックスに決定する前提で議案を上程されたが、市施設の適切な運営管理をするうえで、他業者との比較検討をすることなく、議案にシダックスだけ出され、経緯が明らかにされないため、業者との癒着などの疑惑を払拭することができないので反対です。

賛成討論

現在、学童保育所の運営は市で行われており、常時指導監督する常勤職員がいないことが課題であった。指定管理にすることで常勤職員が配置され、保護者からの要望に対応できることが期待されることから、賛成します。

一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に2億9,634万4千円を追加し、総額153億6,786万3千円とするものです。

歳入の主なものは、市税、地方交付税、国庫支出金、市債などを増額し、財産収入、繰入金を減額するものです。

歳出の主なものは、民生費、農林水産費、教育費などを増額し、衛生費、土木費、諸支出費を減額するものです。

問 時間外勤務手当が増額補正となっている。国が掲げる「働き方改革」の取組として、時間外勤務の縮減について、国から通知などもあると思うが、時間外勤務の実績や取組は。

答 新規事業による事務量の増加などにもとめない、時間外勤務をしなければならない状況であるが、職員の健康管理のために、時間外勤務の縮減に向けて検討していく。

問 自動車燃料購入費助成事業について、今回の補正理由は、利用者が増えたものなのか。また、助成単価を上げる考えは。

答 補正理由は、ガソリン券の利用者が増えたことによるものである。助成単価については、タクシーの初乗り料金相当としていることから、運賃改定時に検討する。

問 今後の保育所の申し込みの見通しは。

答 今年4月に待機児童が26人おり、そのうち8割以上が0歳から2歳児となっている。西地区の定員90名の保育所が完成しても、新たな保育需要の掘り起こしのため、0歳から2歳児の待機児童の解消が難しいと判断し、今回の小規模保育所の設置を行うこととした。

問 多面的機能支払交付金について、新規設立を予定していた3地区が年度内の設立が困難になったための減額とのことだが、なぜか。

答 地元の合意形成が図られなかったことが大きな要因である。

問 白岡中学校周辺事業で交通量調査を予定しているが、次にどのような調査が必要か。

答 県との協議に向けて、産業ビジョンを作成していく。

問 戦没者慰霊塔維持管理事業の内容はどんなものか。

答 八幡公園内に設置されている戦没者慰霊塔の「白岡の塔」を修繕するものである。

この慰霊塔については、昭和44年に設置されて以降48年の歳月が経過し、土台部分の沈下や外壁の汚損などが進んでおり、慰霊塔の管理者である市がこの修繕を行うものである。



備前堀川の仮橋

問 債務負担行為補正(追加)について、本事業のロードマップ(工事内容や開通時期、名称)と総整備事業費(白岡分)および工事発注者並びに管理は。備前堀川橋梁の周辺道路について、白岡と久喜分の整備計画および安全対策は。

答 仮橋については、久喜市を道路管理者とすることで調整を進めており、工事の発注も、久喜市が行う予定である。工事費は1,600万円ほど見込んでおり、当市は事業費の1/2を負担する見込みである。周辺道路の状況は、久喜市では仮橋の開通にあわせ仮橋から既存の市道に接続する道路の整備を昨年度から進めている。本市では、圏央道の工事で傷んだ市道の舗装を今年度中に修繕する予定である。安全対策については、久喜警察署に信号機の設置を要望した。その他に、ベンガラ舗装を施すなど安全対策を実施していく。

特別会計補正予算

国民健康保険

今回の補正予算は、予算総額に490万円を追加し、総額62億1,554万9千円とするものです。

歳入は諸収入を増額し、歳出は保険給付費などを増額し、予備費を減額するものです。

問 今後、どれくらいの残高を維持するのか。

答 30年度決算分から決算剰余金の規模は縮小する。したがって基金の積み増しはむしろ少なく、基金も減少していく見込みである。

後期高齢者医療

今回の補正予算は、予算総額に59万円を追加し、総額5億8,241万2千円とするものです。

歳入は繰入金を減額し、歳出は総務費を減額するものです。

介護保険

今回の補正予算は、予算総額に2億5,750万2千円を追加し、総額33億386万7千円とするものです。

歳入の主なものは、国庫支出金、支払基金交付金、繰入金などを増額するものです。

歳出の主なものは、介護保険給付費、地域支援事業費などを増額するものです。

問 地域包括支援センター業務委託の契約期間を3年にした理由は。

答 介護保険事業計画が3年ごとに見直され、同時に介護保険制度も改正されるため、それに合わせて3年とした。

農業集落排水

今回の補正予算は、予算総額から394万9千円を減額し、総額をそれぞれ8,070万9千円とするものです。

歳入は繰入金を減額し、歳出は総務費を減額するものです。

公共下水道

今回の補正予算は、予算総額から526万2千円を減額し、総額をそれぞれ10億3,471万9千円とするものです。

歳入は、繰入金を減額し、諸収入を増額するものです。

歳出は、総務費と維持管理費を減額するものです。

問 水質管理費の不用額が大きいですが、事業の実施内容に問題はないのか。

答 不用額は入札による執行残であり、予定された内容は着実に実行されている。

野牛・高岩土地区画整理

今回の補正予算は、予算総額に571万7千円を追加し、総額をそれぞれ3,066万7千円とするものです。

歳入は保留地処分金を増額し、歳出は総務費を増額するものです。

問 保留地一区画を処分したということだが、未処分保留地はいくつあったか。

答 二区画で106.85㎡である。

白岡駅東部中央土地区画整理

今回の補正予算は、予算総額から237万1千円を減額し、総額をそれぞれ2億2,260万円とするものです。

歳入は繰入金を減額し、歳出は総務費を減額するものです。

水道事業

今回の補正予算は、収益的収支については、収入を34万6千円増額し、11億7,105万2千円とし、支出を704万5千円減額し11億1,996万7千円とするものです。

資本的収支については、収入を312万9千円減額し6,284万4千円とし、支出を97万円増額し5億516万9千円とするものです。

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

12月定例議会の一般質問は、12名の議員が29項目について行いました。

◆石原富子 議員

- 多発する特殊詐欺の対策について
- 教師の働きすぎについて

◆遠藤 誠 議員

- 丁寧な民主主義と区長会長選出方法について
- 若者よ若者の声を活かすのは市の全施策に通じるのでは
- 政治のモラルについて
- 白岡中周辺の土地利用について
- 教育と保育の融合について

◆渡辺聡一郎 議員

- 大規模災害への対応力の強化について
- 都市と緑の交流について

◆大倉秀夫 議員

- 空地、遊休農地の安全対策について
- 防犯推進委員に揃いのジャンパーまたはチョッキ等の支給を
- 旧春日部菖蒲線道路から公民館西側に通ずる道路を一方通行にできないか

◆菱沼あゆ美 議員

- 命を守るAED設置について
- 選挙投票の支援について
- 特定健診と市民の健康向上について

◆斎藤信治 議員

- 子ども医療費無償化の効果
- 口から見える貧困

◆黒須大一郎 議員

- 選挙啓発と商工振興について
- 新生涯学習センターの管理運営計画について
- 白岡中学校周辺区域土地利用協議会とその他の地域の土地利用について

◆高木隆三 議員

- 空地の除草対策について
- 認知症徘徊対策について
- 公用車にドライブレコーダーの活用を

◆細井 公 議員

- アスベスト水道管の使用地区があるが早期の改修交換を求め
- 白岡駅の駅長、駅員不在の問題について

◆関口昌男 議員

- 生活困窮者の子どもたちの学習支援事業について
- 白岡市の農業振興政策について

◆江原浩之 議員

- 下野田地内の一里塚周辺整備について

◆松本栄一 議員

- 歯科口腔保健の推進について

※ 1人につき2項目までを要約して掲載しています。

問 教師の働きすぎの解決策は

教師の時間外勤務が日常化しており、過労死ラインを超える教師がOECDの中でワースト1だ。

授業の他に部活動指導が大きな時間を占めている。土日も大会などで働いている先生も多い。市の財産でもある教師の健康を守るため、市として独自の対策を伺う。

答 教師が心身ともに健康であるよう努める

教師の働きすぎという社会問題については、教育委員会としても危惧している。市では国に先駆けて、部活動指導のガイドラインを来年度より施行する。教師の実務上の負担を減らすとともに、教師一人一人が仕事にやりがいを持ち充実できるよう努めていく。



石原富子 議員
(開白会)

問 増え続ける特殊詐欺に早急な対策を

特殊詐欺が後を絶たず、被害額は400億円を超えた。肉親の情を利用し、懸命に貯金したお金を一瞬でだまし取る手口は許せない。県警としても緊急課題としている。

受け子に未成年が多いのも問題で、学校教育も重要だと考える。市としての啓発や対策を伺う。

答 市民の啓発と児童生徒の健全育成を図る

久喜警察署を始め関係団体と連携を密にし、市民や企業などに対する注意喚起や啓発活動を継続して実施していく。また、子どもを犯罪に関わらせないため、道徳教育・心の教育の充実と関係機関と連携した非行防止教育などの両面で児童生徒の健全育成を図る。





遠藤 誠 議員
(無所属)

問 若者よそ者の積極的参画を全施策に

慶大生の地域活性化への参画は効果が大きく期待される。慶大生は当然若者であり、よそ者である。この方針を全施策へ適応し、積極的に若者の市政への参画を進めるべきである。また外からの視点を持つ新住民にも積極的に市政への参画を促すべきではないか。

答 幅広い世代の参画に努めていく

若い世代をはじめ、幅広い世代の方が市政に関心を持っていただくことは大変重要である。また、本市に新たに住まわれたかたがたが、市内のさまざまな活動に参加している状況もある。今後も幅広く、多くの市民の皆様が、市政に参画できるように努めていく。

問 丁寧な民主主義と区長代表選

投票率 26.77% の市長選があり、当市は 36.60%。これは民主主義の危機であり、国の衰退の前兆である。対策に政治的作為を極力排除することである。まず 45 人の行政区長の代表選を直接選挙にするなど、すべての面で丁寧な民主主義を積み重ねていくことではないか。

答 選出は行政区長会の規約にもとづき実施

行政区長会は行政区長で組織される任意団体であり、会長は規約にもとづき、日勝、篠津、大山の地区ごとに選出された 12 名の理事の互選により選出され、総会の承認を得て決定される。この選出方法は、一定の合理性があるものと理解している。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)

問 市民農園を活かした緑の交流を

千駄野地区の市民農園を活用し、都市住民と緑の交流を促進できないか。農業に興味を持つかた向けに農業塾などのイベントを実施し、農に携わるかたがたを育てる考えは。また市民農園についてホームページなどでも発信し、利用を積極的に呼び掛けてはどうか。

答 農業に関心あるかたへのサポートをする

緑の交流を後押しするためにも、利用者が集い、そして語り合うスペースとしてベンチの設置を検討する。農園利用者や農業に関心があるかたを対象に農業講演会を実施しサポートしていく。市ホームページでふるさと農園の紹介を行い、周知を図っていく。

問 避難所におけるペットの対応は

近年、避難所におけるペットの対応が重要な論点となっている。災害発生時の混乱の最中にペットの対応をどうするか決定することはむずかしい。あらかじめ全体的なペット対応を十分に検討し、地域のかたがたとともに事前準備を進めていくことが必要ではないか。

答 ペット対応情報の周知・啓発に努める

市では、避難所開設・運営マニュアルでペットの取り扱いに関する基本的事項を定めている。避難所の運営は住民主体が望ましいため、平常時から自主防災組織や行政区に対してペット対応の情報提供を行うとともに、広報紙や出前講座などにより周知・啓発に努める。



問 公民館西側道路を
一方通行に

旧春日部菖蒲線を金子時計店から公民館西側に通じる道路は渋滞が激しく道幅も狭いので事故や言い合いなどの声もよく耳にする。公民館西側の道路の一部と公民館東側道路の一部を一方通行にすることで金子時計店付近の渋滞緩和と事故防止に繋がるのではないか。

答 久喜警察署と交通安全
対策を協議する

現場のこうした状況を、久喜警察署に確認していただく。そのうえで、議員ご提案の一方通行による方法も含め、当該道路における最適な交通安全対策について、久喜警察署と協議していく。



大倉秀夫 議員
(白新会)



遊休農地

問 空地、遊休農地の
安全対策は

空地や遊休農地の雑草などが繁茂すると火災などの危険がともなう。学校周辺では犯罪などの危険も生じる。関係地権者に通知し、事前に雑草などの刈取り、除去依頼で安全確保は可能と思うが、空地、遊休農地対策はどう考えているか。また今後の安全対策は。

答 所有者に適正な管理指導
を実施する

「空き地等の環境保全に関する条例」にもとづき、所有者へ文書などによる指導や、草刈機の貸出しを実施している。また、農業委員と農地利用最適化推進委員が農地パトロールを実施し、農家を訪問し、適正な管理の指導を行い、農地の集積・集約に努める。

問 さらなる選挙投票支援は

期日前投票を利用する人が大幅に増え、期日前投票所を増設して欲しいとの声がある。利便性のある白岡駅付近に設置してはどうか。また、宣誓書を入場整理券と一緒に送付すると、事前に記入して行かれる。市民も担当側も、負担軽減になると思うがいかがか。

答 期日前投票の利便性向上
を検討していく

期日前投票所の増設は二重投票の防止、セキュリティの確保が必要となる。費用便益を考慮し、恒久的に利用可能な施設を調査研究していく。また、期日前投票宣誓書は、選挙人の利便性向上の観点から、現在の投票所入場券の裏面に印刷する方法を検討する。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)

問 24時間使えるAEDを

AEDは早朝や夜間も市民が使えることで、命を守る安心なまちになっていくと考える。普及推進計画の進み具合はどうか。貸出用と、24時間使えるようにコンビニ店舗設置に向けての取組はどうなっているか。また、交番への設置も進めてはどうか。

答 AED普及を
推進していく

貸出用のAEDについては、30年度からの実施を目指し検討中である。24時間使用可能なAEDについては、民間事業者への普及啓発を推進していきたい。また、交番などについては、設置が可能であるか、今後検討していく予定である。





齋藤信治 議員
(開白会)

問 子ども医療費無償化の
効果検証を

29年1月より子ども医療費無償化の範囲を18歳まで拡大した。窓口払いも無いため、多くの子どもたちが医療サービスを楽しむようになった。しかし、無償でも受診できない子どもがいる。効果を検証し、必要としている子どもが受診できる対策が必要では。

答 一時預かりや早期受診の
周知に努める

子ども医療費無償化の効果は、利用状況の増加から早期受診により、重症化予防が図られていると推察している。仕事が忙しく子どもをすぐに病院に連れて行けない家庭に対しては、一時預かりや夜7時まで診察をしている医療機関の周知を積極的に行っていく。

問 □から見える貧困

子どもたちの歯科治療費は無償なのに、10本以上虫歯があるなどの『口腔崩壊』の子がいる。保護者が仕事を休めなかったり、虐待(ネグレクト)などが背景にあると考えられる。無償だけでは治療できない子どもたちがいる。一人一人に寄り添った対応を。

答 保護者への啓発と
歯科保健指導を続ける

児童生徒に『口腔崩壊』といわれる状態が発生していることは見過ごすことができない。保護者へ虫歯治療の必要性を継続的に説明していくとともに、児童生徒自らが虫歯治療に対して積極的に行動できるよう歯科保健指導を今まで以上に充実させていく。



黒須大一郎 議員
(隼人)

問 巨費投じる新土地利用は
公平公正に

これまでの区画整理事業の繰入額は各いくらで、期間は。また、白岡中周辺土地利用協議会とその役員会は、公的機関なのか。

市が農業ゾーンなどとしている地に、企業が熱い目を向けている。土地利用基本計画は二ズとずれ、市の可能性を削いではいないか。

答 地権者組織と信頼関係を
築いていく

市が施行した完了済の3地区と現在施行中の1地区の前年度末時点までの合計額は、約115億円である。白岡中学校周辺区域土地利用協議会は、市と地権者が一体となって設置した。市では、29年3月に改定した第5次総合振興計画にもとづいて運用していく。

問 地域を盛上げる
センキョ割運動を

身近な地方選挙ほど、近年、投票率の低下が著しい。投票所の改編など考えは。

2012年に、横浜で始まったセンキョ割運動は、全国に広がりを見せている。老若男女を問わず、地域を盛上げ、選挙を身近に感じるこの運動への取組を。

答 機会を捉え
情報提供していく

投票率の向上を図るため、投票区の改編を含めた投票環境の整備、効果的な啓発活動などを調査研究していく。また、「センキョ割」への取組を市が主体となって実施することは課題が多いが、大きな宣伝効果が期待できることから商工会などに情報提供していく。



問 公用車にドライブレコーダーの活用を

①ドライブレコーダーを設置し、警察と映像提供に関する協定を結び、情報提供する考えは。②「ドライブレコーダー作動中」のステッカーを使用する考えは。③自主防災車両の区長所有の「青パト」や交通安全協会パトロールカーなどに、設置費用を助成する考えは。

答 協定の締結や情報提供を検討していく

車両入替時に合わせドライブレコーダーを設置していく。また、映像提供の協定やステッカー使用などについては、先進自治体の事例を参考に検討していきたい。現在のところ交通安全協会などに対する設置費用の助成予定はないが、各団体に設置をお願いしていく。



高木隆三 議員
(公明党)



市内の踏切

問 徘徊中の事故に公費負担で保険を

認知症高齢者が、徘徊中事故に遭い、高額な損害賠償を請求されて家族が苦しむ事態を回避しようと、神奈川県大和市では、公費で保険料を全額負担する制度を導入した。市においても、本人と支える家族の安心に繋がる取組を実施する考えはないか。

答 調査・研究し認知症徘徊対策に取り組む

市では、認知症徘徊高齢者の対策の一環として、早期発見ステッカーの配布や、認知症カフェの開設、認知症サポーター養成講座などを実施している。今後も、先進地の状況や近隣市町との情報交換を行い、調査・研究し認知症徘徊対策に取り組んでいく。

問 駅長・駅員の不在を問う

白岡駅の乗降客を軽視し、運行上の要所に人員を配置しないのは、鉄道の公共性を考えれば極めて問題であると考えます。交通インフラの的確な整備という面からも、白岡駅の人員配置の改善と「みどりの窓口」の再整備を求めたい。

答 駅の利便性向上に繋がるよう努めていく

現在の白岡駅の人員配置などは、市民生活の低下を招いていると認識している。これまでも改善の要望をしてきたが、今後もさまざまな機会を捉え、継続的に市民の声を鉄道事業者であるJR東日本に伝え、駅の利便性向上に繋がるように努めていく。



細井 公 議員
(白新会)

問 水道管の早期改修交換を

市内の水道管のうち石綿セメント管、いわゆるアスベスト水道管について交換の進捗状況を伺う。

また、使用区域の住民の胸部悪性腫瘍死について、住民が粉じんによるアスベスト被害にあう可能性などを考慮し、市としての安全性確認などを行ったのか伺う。

答 計画的かつ速やかに更新を進める

石綿セメント管については、市内全体で約18km使用しているが、補助金を活用しながら、毎年2km程度更新している。安全性の確認については、管の撤去時に石綿粉じんの飛散を防ぎ、適切に処理するように水道工業者に確認、指導している。





関口昌男 議員
(日本共産党)

問 子どもの学習支援事業の充実を

生活困窮者自立支援法にもとづき子どもの学習支援事業が行われているが、その事業の実施状況はどのようになっているか。また、開催場所を市内にしてはどうか。さらに、対象者の拡大について、高校の中退者や小学生まで拡大することを検討してはどうか。

答 事業の確実な実施に努める

中学生および高校生の全学年を対象に支援を実施しており、30年度からは、利便性向上のため市内に教室を設ける予定である。小学生まで支援拡大の予定はないが、高校中退者などの学びなおしの場としても活用していただきたい。

問 農業振興政策の充実を

今、日本の農業は危機に瀕していると言われている。これを乗り越えるため国政においても、市政においても農業振興政策の充実が必要である。そのため、米価対策、新規就農支援対策、農地中間管理事業などの充実が必要と考えるが、市の取組の状況と対策は。

答 各種対策に取り組んでいく

米価対策は、31年から始まる収入保険制度の周知などを行い農業経営の安定に努めていく。新規就農対策は、ニーズを把握するとともに掘り起こしに努め、支援のあり方を研究していく。農地中間管理事業対策は、農業委員などと協力しながら推進していく。



米の収穫



江原浩之 議員
(隼人)

問 一里塚周辺整備を

下野田の一里塚は、日本橋から数えて、11番目にあたり、県内では、唯一道の左右に塚が残っている。この一里塚の維持管理など現状は。次に、下野田地内の一里塚を観光資源の一つとして、また、菁莪地区の活性化のためにも、一里塚周辺整備の考えはないか。

答 一里塚の活用方法を提案していく

西塚の工ノキは古木のため、定期的に樹木医の診断を受けて、状態の確認を行う剪定などを行っている。菁莪地区の活性化に向けた取組の中で、周辺の観光資源と合わせた、一里塚の活用方法を提案していく。まずは新たなベンチの設置を考えていく。



松本栄一 議員
(創政会)

問 歯科口腔保健推進条例の制定を

この法律は23年8月に公布・施行、県条例も10月に公布・施行された。市民の歯と口腔の健康づくり推進のため、乳幼児から児童・生徒および成人に対しても重要な施策である。市の責務や歯科医療従事者・保健関係者・市民の役割などを明文化し条例の制定を。

答 条例制定の必要性を見極めていく

口腔の健康は、健康で質の高い生活を営むうえで重要であると認識している。市では「白岡市健康増進計画」において、「歯・口腔」の分野に位置づけ推進しており、計画の見直しの中で、目標とする指標の改善状況などを踏まえ、条例制定の必要性を見極めていく。



委員会報告

先進地などへ視察調査

文教厚生常任委員会

地域包括支援の取組と現状について

11月2日——高齢介護課・地域包括支援センターウエルシアハウス

地域包括支援センターは、地域の高齢者の暮らしや健康などを支援するために設置されている機関であり、誰でも気軽に利用できる相談窓口です。市内には、日勝圏域を担当している「地域包括支援センターぽっかぽか」と今回の視察先であり、篠津・大山圏域を担当している「地域包括支援センターウエルシアハウス」があります。

視察をして、子どもから高齢者まで受け入れられている姿勢と、介護施設にはない開放的なカフェスペースは、画期的であり、おしゃべりや情報交換や憩いの場として今後、定着していくのではと期待できるものでした。

そして、これらの取組が、市・企業・住民

による地域密着の先進的な運営事例となるには、これからの市と企業の継続的な姿勢・努力・成長が必要になります。視察をして、民間ならではの熱意と柔軟な姿勢を感じ、今後の事業の拡大が期待できると感じました。

介護保険サービスは、地域コミュニティの充実など、課題が山積しています。しかし、今回の調査を参考にし、真に制度が定着し、幅広く地域に受け込み機能するよう、議会として取り組むことが重要であると考えます。



産業建設常任委員会

企業参入による地域農業の振興について、インターチェンジ周辺地域の土地利用について

10月11日・12日——千葉県君津市・静岡県牧之原市

君津市の農業生産法人株式会社カズサとまとガーデンは日本デルモンテアグリと提携し、ガラス温室で土を使わない水耕栽培システムにより、6,000本のトマトを栽培しています。日本デルモンテが開発したトマトを生産、販売すると同時にトマトの摘み取りができる観光施設にもなっています。

大規模なトマトの生産施設を探していた企業と、施設が市街地から比較的近いため労働力が確保しやすいカズサとまとガーデンとがうまくマッチングしたので事業展開となったとのことでした。

農業の企業参入は、現在の日本の農業が抱える担い手の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などの課題を解消するひとつの手段として期待されて



いるものであり、君津市でも、企業の参入により雇用が拡大し、有効な農地利用が展開されていました。

当市においてもこうした企業との連携による可能性のさらなる模索が必要であり、企業の情報を俊敏にとらえると同時に当市が持つ強みの情報発信に一層、力をそそぐべきと考えます。

牧之原市のインターチェンジ北側土地区画整理事業は、急激な人口減少や地震被害の想定を背景に立ち上げられました。南海トラフ地震対策のため静岡県が推進する「内陸フロンティア推進区域」に指定されていることもあり、農業、都市計画、事業認可などの調整が順調に進められるのではないかと推測されます。



当市における課題とは異なりますが、牧之原市がこの事業を多角的に調査・研究をし、丁寧に進めている点はとても参考になるものでした。

当市では、圏央道白岡菖蒲インターチェンジ周辺の血沼周辺地区が土地利用基本構想において、工業系産業誘導区域とレクリエー

シヨンの土地利用検討区域に位置づけされています。

今後、土地利用の検討をしていくなかで、この地域の持つ特性を活かして雇用の促進・交流人口の増加を図り、市全体の人口増加・定住促進につながる計画を策定することが必要と考えます。

総務委員会報告

地域活力の再生に向けた取組について、公共施設マネジメントについて

10月23日・24日 —— 福島県会津若松市・茨城県龍ヶ崎市

会津若松市では、IT関連企業が立地していること、ICT専門の会津大学が立地していること、また、12万都市と



いう実証実験を行うにあたって適切な規模であることから、ICTを活用した実証地域として、地方創生のモデル都市となり、スマートシティ会津若松の推進を行っています。

「スマートシティ会津若松」とは、ICTを福祉や教育、農業、防災などのさまざまな分野に活用し、市民生活やまちづくりを効率化・高度化していく取組です。具体的には、タブレットによる市役所の窓口サービスや、知りたいことに応じて情報が届く「会津若松+（プラス）」など、市民の利便性向上を図る取組を行っています。また、データを活用した質の高い医療環境の整備や、ICTによる農業の生産性向上など、まちづくりの高度化を図るさまざまな取組が進められていました。

ICTの活用は、まちづくりの高度化や産業の活性化など、まち全体に大きな恩恵をもたらすものと考えます。

当市でも、地域の問題解決と将来の発展のために、ICTの活用を図っていく必要があると考えます。

龍ヶ崎市は、質と量の両面から公共施設やインフラ全体のあり方を見直すために、県内でもいち早く、公

共施設再編の基本方針を策定し、公共施設マネジメントの取組を始めました。「縮充」というキーワードを掲げ、公共施設の数や面積、コストを縮小・削減しつつも、施設の機能や質は充実させるという方針を打ち出しています。



また、専任組織である資産管理課を設置し、全庁的な公共施設マネジメントを推進しています。さらに、官民連携と市民協働により新しい施設マネジメントの形を追求しています。施設整備にあたり、対話型市場調査などを実施し、施設の有効活用について、民間事業者から広く意見などを求めています。

また、市民に対しても、公共施設マネジメントについて、説明会を頻繁に開催し、周知を図っています。

当市においても、これからは「建設」だけではなく「管理」が重要となります。官民連携や市民協働による新しい公共施設マネジメントを検討していく必要があると考えます。

議会日誌

11月		13日	産業建設常任委員会
24日	議会運営委員会	14日	総務常任委員会
30日	第4回議会定例会	20日	第4回議会定例会
12月		22日	蓮田白岡衛生組合議会の定例議会
4日	第4回議会定例会	27日	議会広報常任委員会
5日	第4回議会定例会	1月	
8日	第4回議会定例会	10日	議会広報常任委員会
	議会広報常任委員会	19日	埼玉東部消防組合臨時議会
12日	文教厚生常任委員会	25日	全員協議会

《12月定例議会の審議結果》

(○：賛成 ×：反対)

議席番号・議員名	議決結果																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
件名	井上日出巳	渡辺聡一郎	関口昌男	齋藤信治	松本栄一	細井公	大島勉	遠藤誠	黒須大一郎	大高馨	鬼久保二郎	野口克博	石原富子	大倉秀夫	江原浩之	菱沼あゆ美	高木隆三	藤井栄一郎	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
保健福祉総合センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
勤労青少年ホーム条例を廃止する等の条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
しらおか味彩センターに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
梨選果センターに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
学童保育所に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度	一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	野牛・高岩土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	白岡駅東部中央土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

※18番 藤井栄一郎議員は議長のため、採決には加っていません。

議場コンサート 出演者募集

一般市民の音楽愛好家およびプロの演奏者(歌手含む)それぞれ1組ずつを募集します。なお、出演に要する経費は、すべて出演者の負担になります。

日時 5月19日(土)
午後2時～3時30分

演奏時間 一般15分 プロ30分
※準備、片付け、紹介時間含めての時間となります。

場所 議場(庁舎4階)

参加要件 一般市民のかたは、市内在住、在勤、在学のいずれかであること。グループの場合は、1人以上該当者がいること。
プロのかたには要件はありません。ただし、一般、プロとも、楽器や譜面台など演奏に必要な機材などはすべて持参していただけるかたとします。

申込み はがきに必要事項をご記入のうえ、2月末までに議会事務局へお送りください。
なお、申込みが複数の場合は、3月2日(金)議場において抽選のうえ決定します。

必要事項 ●代表者の住所、氏名、電話番号(市外のかたは、市内在勤、在学について明記してください) ●出演者数 ●演奏楽器 ●曲目

送付・問合せ先
〒349-0292 白岡市千駄野432番地
議会事務局まで
TEL 0480(92)1111(代)
内線412
FAX 0480(93)5135

12月定例議会傍聴者数

本会議：市内46名 市外1名 合計47名
委員会：市内0名 市外1名 合計1名

次回の定例会は

2月22日(木)開会予定です。

編集後記

執行部から提出された各議案は、本会議にかけられた後、3つの委員会で審議されます。この審議については、議会だよりでも取り上げられるスペースも少なく、地味な取り扱いですが、重要な質疑が行われています。例えば、今議会の文教厚生常任委員会では朝の9時から昼休みも取らず午後1時過ぎまで審議が行われました。また、傍聴ができることはあまり知られていないようですが、今回は傍聴者もありました。(関口)